

## 第 59 回 オミクロン株について（新春学長メール Vol.5）

おはようございます。  
長崎大学人、河野茂です。

先週、本県でもオミクロン株の感染者が発覚しました。  
大学内でも感染者が出始めました。成人式明けの今日からは、1、2年生の講義などはオンラインになります。  
感染は、急速に拡大しています。15日からは、いよいよ、大学入試共通テストです。感染拡大の中、非常に緊迫した対応が迫られると思います。  
関係者の皆さんには、尽力に感謝します。

このような状況の中、長崎大学人としては、平常心を保ち、基本を重視し日々の学習、仕事に向き合ってもらいたと切に思います。  
また、長崎大学人としては、学生も教職員も、最先端の科学的な知識を知り、正しく恐れる姿勢を持つべきと思います。  
本日は、熱帯医学研究所 所長/ウイルス学分野 教授 森田 公一 先生に最新情報を提供していただきます。

-----  
1月11日火曜 新型コロナウイルス（特に、オミクロン株）の現状/森田公一

新型コロナウイルス（デルタ株）による我が国での第5波は昨年（2021年）7月～8月に過去最大の流行となり、大都市では医療崩壊ともいえる在宅で死亡するケースが発生した事は記憶に新しいところです。  
その後、社会全体での衛生対策とワクチン2回接種の進展（本学での接種率は80%を越えました）などによって9月から12月まで感染者数は非常に低く押さえられ、本学の学園生活も正常にもどりつつありました。

一方で世界全体での感染者数は多少の増減はあるものの新規感染者はこの1年、毎週250万人～550万人の間で推移しており、1月4日時点では感染者2億9千6百万人、死亡は546万人におよび、全く収束の気配を見せていません。  
そのような状況のもとで新たな変異ウイルス（オミクロン株）が2021年11月に南アフリカからWHOに報告され世界に拡散して感染者数が急速に増加しています。

日本においても検疫をすりぬけて侵入したオミクロン株が拡散しており、この年未年始の人々の移動でさらに感染者数が増加し大都市部と沖縄県、山口県、広島県で患者数が急増しています。

長崎でも先週末、オミクロン株の感染例が複数確認され最大限の警戒が必要な状況にあります。

オミクロン株の特徴はデルタ株をしのぐ感染力の強さです。

実効再生産数は 2.55 (南アフリカ) で、これまでの株よりはるかに高く、南アフリカでは 10 月に 2%、11 月に 82%、12 月には 98% がオミクロン株に置き換わりました。

もう一つの特徴は免疫の攻撃対象であるウイルス粒子の表面を覆うタンパク質 (スパイクタンパク質) に 30 個以上の変異が発生していることです。

これはワクチンの効果が減弱する可能性を示唆しており、これまでにワクチン接種者が感染するブレークスルー感染が多く報告されています。

ただし、病原性についてはデルタ株よりも低いようです。感染者のうち入院するヒトの割合は 1/2~1/3 との報告があります。

それでも油断は禁物です。

患者数が増加すると絶対数として重症化するヒトの数は増えて、抵抗力が十分でない高齢者や基礎疾患を持つ人達が犠牲になるからです。

また、正常化に向かっていく学園生活も再び遠隔授業を余儀なくされる事態にもなりかねません。

予防方法は従来と変わりません。マスクの着用、手指衛生、換気などがオミクロン株にも有効であることが示されています。

ワクチン 3 回接種のオミクロン株に対する有効性を評価するデータも近々に発表されると思います。

世界での新型コロナウイルスの流行が継続する以上、日本でもしばらくは対策の維持が必要です。

正確な情報に基づき、リスクを低減し皆さん自身、学園生活、社会を守りましょう。

-----  
わかりやすい解説をありがとうございました。

森田先生のコメントをしっかり受け止めて、我々は、それぞれの持ち場で、冷静に行動してゆきたいですね。

先週、＜平常心＞＜道＞＜基本＞＜継承＞というテーマでメールを発信しましたが、思った以上に反響があり、うれしく思っております。

テーマにからめた、それぞれの趣味の話、仕事への姿勢、人生の教訓など、元気のでるメッセージでした。ありがとう。

私の発信した4つのテーマに関して、皆さんの前向きなメッセージをまだまだ待っています。気軽にメールください。